

# まちづくり懇談会記録

開催日時	令和2年2月4日(火) 午後6時00分～午後6時55分
場 所	であえーる緑幸団地集会所
出席者等	○市民参加者：男性11名 女性 3名 合計14名

## 会 議 の 概 要

### 1 開会 【総務部長 司会進行】

### 2 市長あいさつ

○荻原市長あいさつ

皆さんこんばんは。本日の懇談会のご案内を差し上げたところ、こうして出席いただきましてありがとうございます。本日から14日にかけて、市内11か所でまちづくり懇談会を開催しますが、その初日のふた会場目でございます。今回開催することとしましたうえにおきましても、日頃から皆様には市政やまちづくりに関しましてご支援・ご協力をいただいていることを冒頭感謝申し上げます。

さて、この一月から中国で発生しました新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大しております。この予防対策の懸念の他にも地球の温暖化の影響もございまして、積雪量の記録的な少雪状態が続いているところでございます。除雪作業には好都合でございますけれども、越冬の作物等、懸念されるところでございますが、注意深く見守りながら必要な対策はしっかりとしていかなければならないと考えております。

そういう中におきまして、先ほど総務部長からご案内申し上げたとおり、市が直面する2つの課題がありまして、今後の取り組みについて、現状をお伝えしてご意見をいただきたいと思っています。

詳細については担当からご説明申し上げますけれども、その一つは、市庁舎についてとなりますが建築後50年が経過しております。老朽化とともに耐震性も劣る状況でございまして、芦別は地震が少ない土地柄でありますけれども、震度6強で倒壊の恐れがあるという状況であり、将来にわたって市民の皆様にとって適切な行政サービス、防災の砦としても機能をしっかりとしていくということが、行政として求められているわけであります。したがって長期的な観点に立って、建て替えを視野に入れさせていただいて、多大な事業経費を要することもございますので、国の支援もさることながら、市の財政面も十分念頭に入れて検討を加えて行かなければならないと思っています。

もう一つは市立病院の事ですが、人口の減少、さらには常勤医師の不足といったことから、受診者の減少ということで年々厳しい経営環境下におかれているところでございます。昨年、厚労省から全国で424の病院、道内においては54の病院を再編・統合の対象とするという公表があり、芦別市が中空知で唯一対象となったわけでございます。これを受けて、市民の皆さんから、市立病院がなくなるのではないかと心配の声を寄せいただいたところですが、市民の皆さんの命や健康を守るという使命を果たす唯一の公立病院でありますので、なくすことがあっては、市民の安全・安心な暮らしに多大な影響を及ぼしかねませんので、そういった観点から、先月25日に有識者で構成します検討委員会で一年間かけ検討をいただいたわけですが、そのあり方について答申をいただきました。今日は、その報告と合わせまして市としても答申をしっかりと受け止めまして、市民の皆さんから安心をいただける医療の提供ができるようさらに検

討を加えまして、可能な限りにおいて他の病院との連携も視野に入れながら、病院を維持・存続させていこうと考えております。

これらのことなどについて、改めて皆様から忌憚のないご意見等をいただきながら、有意義な懇談の場となりますようにご協力を申し上げ、開会にあたってのあいさついたします。今日はどうぞよろしく願いいたします。

### 3 説明事項【担当者より説明】（資料添付省略）

- (1) 芦別市総合庁舎建設基本構想（素案）について
- (2) 市立芦別病院のあり方検討委員会の答申について
- (3) その他
  - ・北森カレッジの本市での実習について
  - ・新型コロナウイルスの対策等について

### 4 意見交換

#### ○市民

新庁舎の規模ですが、現在は地上三階、地下一階、屋上となっていますが、新庁舎としてはどの程度の規模なのでしょうか。

#### ●危機対策課長

現在は三階建てとして地下は考えておりません。面積なのですが現庁舎は6000㎡となっており、新庁舎は16ページにあるように4,700㎡から5,000㎡程度と考えています。この面積については、将来的な人口の減であるとか、職員数も減っていくということもありますので、それらを見越して減らした面積となっていますが、今後におきましても、まだ少なくする必要はないかという意見がありますので、この後、基本計画なりを作っていくうえで、無駄な部分がないのかという検討を図りながら進めて行きたいと考えています。

#### ○市民

庁舎の耐用年数というのを見た時に、これから他の施設も10年後・20年後に耐用年数を迎える建物があると思います。資料の中に市民会館や図書館などの職員の集約と書いてあり、将来的に集約するというイメージを持っていると感じたのですが、建設の内容を見てみるとそういった機能が書いていなかったの、例えば庁舎の中に図書館を造るとか、市民会館の機能を有するとかは検討していないということでしょうか。

#### ●危機対策課長

資料として提出しましたのは、基本構想ということになっています。この後、基本計画を作るうえで、複合化に関してもどういふものかを検討して行かなければならぬと考えております。ただ、現時点で何を入れるのかということころまでは具体的には決めていません。庁舎は、自由なレイアウトができるように、間仕切りが動かせるというようなことを考えていますので、将来的に空いたスペースがあれば、そこに何かを入れるということも考えています。

#### ○市民

市庁舎の関係で参考として芽室町の写真が載っていますが、たしか鉄骨造だと思います。芦別市の庁舎として構造をどのように考えているのかということを確認したいと思います。報道ではRC造を予定していると拝見しましたが、北森カレッジの説明も併せてありましたので、芦別で庁舎を建てるならば木造でという声をほかの方からも聞いています。その辺をどのように検討されていますか。また、来年度から基本設計となっていて、タイムリミットが令和3年3月末ということですが、しっかりと検討していただき、10年、20年、

30年使う場合のところまで考えて、先に質問がありましたけれどその辺の効果なども考えて進めてほしいと思います。

●危機対策課長

構想に具体的に書いてはいませんが、面積、三階建てということからRC造を考えています。木造については、三階建てでできなくはありませんが、工期が長くなったりして難しいという問題があります。費用面から見ても難しいと考えていますが、この後、もっと面積が少なくなるとかであれば、木造も考えていかなければならないと思います。今のところはRC造として、木は内装として特色を活かした形でできればと考えています。

○市民

近隣で当麻町の役場庁舎が木造の在来で造られたりですとか、CLTとかを使うと環境省とか林野庁などで総務省の補助金よりも手厚く付いたりもしていますので、その辺もあわせて検討願います。

●危機対策課長

参考にさせていただきます。

○市民

市立病院の病床数が99というのは理由があるのですか。

●病院事務課長

今までは100床としていました。これは、100床にすると国からの特別交付税が一番多くもらえるということで設定していたものです。しかし、8月に総務省から経営アドバイザーが来られたときに、100床とするよりも99床にした方が外来の点数が多く取れると助言されました。100床と100床未満として比べると、特別交付税の1床当たりの単価は大体年間100万円となっていますが、100床未満として今の患者数がそのままとした場合、年間800万円ぐらいの収益があることを経営アドバイザーが試算してくださいますと、1床減って100万円の交付税が減ったとしても800万円の収益が上がり、差し引き700万円の増収になりますという助言をいただいたことから、99床にしたいという答申の内容になっています。

○荻原市長あいさつ

最後まで熱心にお聴き取りいただきありがとうございます。庁舎について貴重な意見をいただきました。今後に向けて、意向を踏まえながら対応を図っていかねばならないと思っております。一つ申し上げさせていただきますと、この4月から芦別の10か年の将来の計画であります第6次総合計画がスタートいたします。将来像については、市民憲章に準じて「みんなで築く 豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」を考えています。この実現に向けましての初年となるのが令和2年度になります。令和2年度の予算が大詰めで迎えておりまして、そういう意味ではこの計画が着実に歩んでいけるように、また市民の皆さんにもご理解がいただけるような予算編成に努めて参りたいと思っております。

これからも、皆さんと一緒に考え、力を合わせてこのまちを、地域を元気に、そして前へ力強く歩み続けられるように職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き皆さんのご支援とご協力をお願いしたいと思います。加えて、札幌管区気象台によりまして、今週から来週に向けましては、気温に高低差があるということでございます。体調管理には十分ご注意いただきまして、ご健勝でお過ごしすることをご祈念いたしまして、本日の懇談会を終了したいと思います。

5 閉会

以上